

NO GRASSROOTS, NO ADVENTURE!

— IDENTITY・ZONE そして FUSION —

その13 (R06.05.13)

～ 避難訓練前日 0の意識 ～

スポーツ選手のインタビューでよく聞く言葉に、「次に向けて、いい準備をしておきたいです。」があります。いい準備は、すばらしい結果につながります。あらためて、準備をすることの大切さを実感します。

災害に対しても、同じように準備することはとても大切です。まだ何も起きていないときこそ、いろいろな想定を意識して準備する必要があります。これを「0の意識」と考えています。

そこで、各学年の子供たちに、火事が起きる前に、どのようなことを意識しているか、インタビューしてみました。子供たちですから、知らないこともたくさんあります。

でも、子供だからと言って、災害が手加減してくれことはありません。成長するにつれて、知識や技能を身に付けることや実行できることは増えていきます。

芝根で見つけた 小さな冒険の始まり

【 5月13日(月)】1年生の一言 ○いつも、上靴を脱がないようにする。 ○先生の話をよく聞く。 ○火遊びをしない。	【 5月13日(月)】2年生の一言 ○火事が起きたら、校庭へ逃げる。 ○逃げるときは、「おさない・走らない ・しゃべらない・もどらない」を守る。
【 5月13日(月)】3年生の一言 ○消火器の位置を確認する。 ○消防署の電話番号を覚える。	【 5月13日(月)】4年生の一言 ○火は、親がいるところで使う。 ○消火できるものを準備する。 ○大火事に備えて、防災グッズを備える。
【 5月13日(月)】5年生の一言 ○火災報知器の位置を確認する。 ○火事が起きたら、火災報知器をすぐ押す。 ○放送をよく聞き、火災の場所を確認して避難する。	【 5月13日(月)】6年生の一言 ○すぐに逃げる。 ○ハンカチで口を押さえる。 ○先生に連絡をする。